

# 分校だより

## 1・2月号

地域と共に歩む  
大曲農業高等学校太田分校  
(TEL) 0187(88)1311  
(FAX) 0187(86)9035

### 令和元年度の締めくくりそして令和二年へ

●1月14日(火)、三学期の始業式が行われ、令和元年度を締めくくる学期が始まりました。今年の冬は暖冬の影響で雪が少なく、楽しみにしていた大台スキー場でのスキー授業が中止となるなど、雪不足による影響が各方面であるようです。更に「コロナウイルス」の心配もあり、今後どうなるか目が離せない令和二年のスタートとなりました。これからも地域とともに歩む太田分校です。令和二年もよろしくお願いたします。

### 渡部剛教頭先生のお話 三学期は大切な学期 充実した学期に

●二〇二〇年が明けたということで、今年もよろしくお願いたします。今年の干支は「ネズミ(子)」です。ネズミは最も古くから人間とのかかわり深い動物の一つですが、収穫した穀物への被害や病原菌を媒介するなどどちらかというと言われ嫌われていいます。しかし現代医療には欠かせない実験動物として人類の命を助ける貢献してくれるありがたい動物でもあります。人類とネズミはもともと同じ祖先でネズミのDNAの八五％は人間と共通しています。また、甲子園球場の「子」は球場がネズミ年にできたことに由来しているといわれています。

四月から「挑戦」ということを何度も話してきましたが、令和二年、ネズミ年は十二支の中では一番最初ということで、何か新しいことを始めるには良い年といわれています。また、ネズミは子だくさんということで繁栄の象徴です。ですから、ネズミ年である今年には、新しいことに挑戦するとうまくいくという縁起の良い年です。是非何か目標を見つけて挑戦してみてください。

さて、三学期は非常に短い学期ではありますが、最後を締めくくる大切な学期となります。三年生にとっては登校日数はわずかに十数日しかありません。これから過す残りの全てのことを心に刻みながら一日一日を大切に過ごし、最後まで後輩に立派な姿を見せてほしいと思っています。二年生は学校のリーダーとしての覚悟を決める期間になります。また、今学期が終わるまでには、進路についてある程度方向性を決めておく必要があります。一年生ですが、春には後輩が入学してきます。直接教えることが多くなりませんが、人に教えるためには、まずは自分でしっかりとできなければなりません。中間学年として二年生の充実が学校の充実大きく影響しますので、その準備をするようにしてほしいと思います。

三学期は一年の締めくくりの学期であるとともに、来年度への準備をする時期でもありますので、一人ひとりがそれぞれ自分の具体的な目標を明確にし、充実した学期となるように期待しています。



### 生徒会新役員決まる 生徒会新役員任命式

●1月14日(火)、生徒会新役員任命式が行われました。三年生からバトンを受けた新役員が次のように決まりました。

- |        |            |        |          |
|--------|------------|--------|----------|
| 生徒会会長  | 鈴木夕奈(二年)   | 生徒会総務  | 梁田麗斗(二年) |
| 生徒会副会長 | 細川舜介(二年)   | 応援団団長  | 草薨彩乃(二年) |
| 生徒会副会長 | 細川柚衣(二年)   | 応援団副団長 | 浅利大遥(一年) |
| 生徒会会計  | 斎藤陸人(二年)   |        |          |
| 生徒会書記  | 高橋 柊(一年)   |        |          |
| 生徒会書記  | 佐々木真理香(二年) |        |          |
| 生徒会書記  | 吉村彩名(一年)   |        |          |

### 進路活動報告会

●1月22日(水)、進路活動報告会が開かれました。昨年度は三年生一人ひとりによる取組や感想、一・二年生へのアドバイスを織り交ぜた報告会でしたが、今年進路の内訳や進路希望状況の変化、進路決定の時期など、進路で気になる事柄について三年生が答えたいくものでした。今年から求人票が新しくなることを踏まえ、一年次から求人票を見て、どのような会社が高校生を求めているかを知ることや、二年次が終わるまでには、受験する可能性がある事業所を絞り試験対策のメドをつけておくなど大切なことが分かり、具体的な活動報告会でした。

〔三年生からのアドバイス〕

「進路決定で一番頑張らなければならないことは？」

- ・ 日常から気をつけていないと社会に出たら苦労する。
- ・ 二年生になった時点で自分の進路を決めておくこと、三年生になった時の面接練習や学科試験対策に安心できる。
- ・ 自分は何の仕事に向いているか、普段の生活の中で考えておくこと。
- ・ 悪いところを直前になって直そうとしてもなかなか直らないので、日常の生活で注意されていることを意識しながら取り組むこと。

「一・二年生にやってほしいとおすすめることは？」

●その他にもニュース記事のチェックやコミュニケーションの訓練といった少数意見もありました。参考になりましたね。



### 三年生「社会人準備講座」

●2月1日(土)から三年生が自宅学習期間に入りました。卒業式までの間に本校を設け、社会人になるための準備講座を実施しました。

- ①労働法について
- ②テーブルマナー講習会
- ③リクルートメイクと社会人メイク講座
- ④消費者講座
- ⑤スーツ着こなし講座
- ⑥コミュニケーションセミナー



### 冬ならではの行事に親しむ ものづくり講座②

●1月14日(火)から31日(金のLHR)と総合的探究の時間を活用して紙ふうせん作りを行いました。2月1日(土)に行われる「太田の火まつり」で上げられる紙ふうせんです。今年も一・二年生の合同チームを五つに分け、経験のある二年生が一年生に手順とやり方を教えながら協力して作成しました。



### 「元気なふるさと秋田づくり」 顕彰事業表彰

●太田分校生徒会の活動が「元気なふるさと秋田づくり」顕彰事業表彰として、2月19日(水)仙北地域振興局で行われた式典に出席して表彰されました。この事業は、よりよい地域を作るため、この地域の様々な課題の解決に向けて、地域固有の主体的な活動を行う事業です。「地域とともに歩む太田分校」をスロガンに、様々な行事とおしえて地域との関わりを深め、草の根活動を展開していることが評価され、この度の初受賞となりました。



### 太田の火まつり

●2月1日(土)、「太田の火まつり」が行われました。豊作を願う「雪中田植え」、願い事を神様に届ける「天筆焼き」、その年の思いや願いを託し、天に声が届くようにと上げる「紙ふうせん上げ」など、この地域に伝わる伝統行事を一堂に会して行うお祭りです。太田分校では毎年紙ふうせん上げに参加してきました。今年も雪不足のため、火を灯さず、熱風を送るに願いを込めた五個の太田分校紙ふうせんは、ゆったりと夜空に消えていきました。

